

●二〇〇一年五・三〇声明

私たちは公然とした活動に転換します

日本赤軍

「迷惑をおかけした人たちに心から謝罪します」

今年、一九七二年のリッダ闘争から一九九〇年目を迎え、そして二一世紀で最初の五月三〇日を迎えました。この声明は、日本赤軍の名前を出す最後の声明となります。私たちが愛する同志、そして今は悔しいが獄中にある重信房子同志がすでに明らかにしたように、私たちは日本赤軍の解散を決定しました。これは、私たちの出生の地であり、その活動の大半を行ってきたベイルートで、一九九五年、五人の同志たちが逮捕された時から私たちが検討してきたことでした。

公正と正義に満ちた世界の実現を求めて

一九九一年、ソ連の崩壊は、人類の歴史にとって大きな転換をつくり出しました。グローバリズムという名の地球規模で展開し始めた資本主義と米国の全世界に対するなりのふりかまわぬ覇権は、人と人を、国と国を限りのない競争に追い込み、貧困と生命の危機に追い込んでいます。人々の命までもが企業の利益に換算される破滅的な資本主義が地球上の隅々までも覆い尽くし、人間が人間らしく生きる社会的条件と自然の条件を破壊しようとしています。

敗北を礎にして世直しに挑戦し続けます

重信同志をはじめとする多数の逮捕という犠牲を払いましたが、反面、獄中の同志たちが私たちが闘いの総括を返し、公然と発言できる条件がつくられ、また逮捕された者の一部はすでに獄外に出、また近いうちに釈放される同志もいます。この条件を生かし、私たちは公然とした活動に転換し、獄中同志の救援と岡本同志と

世界、公正と正義にみちた世界の実現を求めていこうではありませんか。リッダ闘争はそれを担った主体の不充分さはありながらも、闘った三同志の命を賭した自己犠牲精神によってパレスチナ解放闘争の新しい段階を切り開くことに共同し、同時に、言葉に尽くせない連帯を築きました。私たちは人々の苦しみや、貧困、困難を解決するために自己犠牲を惜しまない精神と、そして国境や民族を超えた連帯をしっかりと握りしめて、これまでとは異なる形態での日本の世直しの運動の一翼を担うべく出発します。

敗北を礎にして世直しに挑戦し続けます

同志を支えてくれている人たちとの連帯を強めていきたいと思います。人民連帯を推し進め、世直しの運動に参加して、日本から発信し、世界の人民と共に進みます。岡本同志の亡命を認め、同志を保護してくれているレバノン政府と人民、アラブ、パレスチナの諸勢力に、そして日本で獄中の同志の救援のために協力して下さっている人々に感謝をささげます。小さな勢力ですが、志は大きく、世代を継いで二一世紀を本当により良い時代とすべく、勝利するまでは何度敗北しても、その敗北を礎にして世直しに挑戦し続けます。来年の五・三〇は新しい名称でのアピールを送ります。(見出・編集部)

警視庁・万世橋署による不当なガサ入れ攻撃を許さない！

二〇〇一年五月二日 東京管理職ユニオン執行委員会

全国の労働組合・労働者のみなさん！さまざま分野で日夜奮闘している仲間のみならず、日本午前八時過ぎ警視庁は万世橋署・河田、公安二課・渡辺を先頭とする二十数名の公安刑事どもを動員し、わがユニオンの事務所及び組合員の自宅など三方所に対する全く許すことのできない家宅捜索を強行しました。この不当な捜索は、現在係争中であるレッドハットとの解雇問題の過程で「建造物侵入」暴行・傷害事件が発生したとのデッチあげに基づいて実行されたのです。今回の不当な弾圧は次のような特徴をもっています。一番目には、労働争議及び労働組合に対する警察・司法一体となった直接的・暴力的な弾圧と位置づけることができます。今回の不当な捜索において、警視庁は約一〇〇点にわたる物品を押収したのですが、そのほとんど全てが前記レッドハット「事件」とは全く無関係な代物であり、「事件」なるものが全くの口実にすぎないことを雄弁に物語っています。

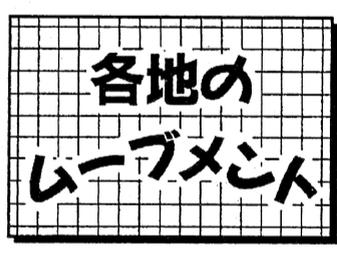
今回の不当捜索の二番目の特徴点は、刑事訴訟法の手続き、原則をかなぐり捨てた拡大適用ともいえるべき弾圧であるという点にあります。わがユニオン事務所その他三方所に対して家宅捜索があったことは冒頭に述べたところですが、わがユニオン事務所と同じフロアにあるもの、全く独立している安部行政書士事務所まで礼状をとって捜索し、組合活動と全く関係のない職業柄保持している数百枚の名刺類を押収し、また別組織である、労働組合ネットワークユニオン東京の業務書類を多数強奪しつたのです。

容疑事実が仮に事実であらう一つの心配を拭くことができませぬ。もしこのような事故が横須賀や佐世保やホワイトビーチで起こったなら、それが原子炉を巻き込んだものになったら、どのような結果になるのでしょうか。事故の後、原子力潜水艦は何事もなかったかのように横須賀への入港を繰り返してきます。事故が起きてからでは遅いのです。私たちは日本で最大の原潜寄港地横須賀の沢田市長に、市民の怒りと不安を受け止め、行動することを強く求めます。事故直後、小樽に寄港を通告していた駆逐艦「ジョン・S・マイケン」は「国民感情に配慮して」寄港を取り止め

たとしても、ネットワークユニオン東京、及び安部事務所は同「事件」とは全く無関係であり、かかる捜索・押収行為は、法律を全く逸脱した行為と言わざるを得ませぬ。またこのような捜索を認められた裁判所に対して深い憤りを覚えざるを得ないのです。全ての仲間のみなさん！

今回の不当弾圧に対する警察裁判所への反撃を私たちは本日より開始いたします。また私たちは、かかる不当弾圧にめぐることなくレッドハット争議をはじめとした全ての争議の勝利に向けて萎縮することなく、前進していく所存です。多くの仲間のみなさんの御支援、ご協力をお願いいたします。

米原潜グリーンビルによって引き起こされた実習船「えひめ丸」の沈没事故。事実が明らかにされるにつれ、安全確認よりも同乗した民間人へのデモストレーションを優先した米軍に対する怒りが広がっています。行方不明の九人の家族の心痛を思うと同時に、私たちはも



横須賀市長へ原潜寄港拒否を求め要請ハガキ

すべての基地に「ノー」を！ 神奈川ファイト

私たちは日本で最大の原潜寄港地横須賀の沢田市長に、市民の怒りと不安を受け止め、行動することを強く求めます。事故直後、小樽に寄港を通告していた駆逐艦「ジョン・S・マイケン」は「国民感情に配慮して」寄港を取り止め

たとしても、ネットワークユニオン東京、及び安部事務所は同「事件」とは全く無関係であり、かかる捜索・押収行為は、法律を全く逸脱した行為と言わざるを得ませぬ。またこのような捜索を認められた裁判所に対して深い憤りを覚えざるを得ないのです。全ての仲間のみなさん！